

愛知教育大学 情報保障支援学生団体「てくてく」

支援技術研修会

- 情報保障に対する心得
- 大阪大学 中野先生による講義
- テイクの記録，再生による検討
- 情報保障体験



理解啓発活動

- タイピング速度大会
- イヤーマフを用いた筆談
- 合理的配慮に関するパネル展示
- パンフレットの作成・配布



情報保障支援学生団体



支援の質の比較

今回私は、作中の「カルチュアラン取り壊し反対運動」から見た、1960年代当時の日本と現代の日本の関係性について述べたいと思う。

史実としては、1968年に世界的なベトナム反戦運動を背景に、アスバック、失礼しました。ASPACの開催が日本が注目のアジア再保衛戦への一歩であるとして抗議し、その実力闘争を拒もうとして、「神田カルチュアラン闘争」が起こった。

この結果としては、機動隊と学生の衝突はあまりなく、ASPACも開催された。

この「神田カルチュアラン闘争」からわかることは、当時の日本の学生が、「ベトナム戦争に反対していたこと」と、「日本政府がASPACに参加することによって、日本が過去の過ちを再び繰り返してしまふことを恐れていた」ということだ。

原文

私は、作中のかチュアラン逃走現代の日本の関係性。

1968年にベトナム反政府運動を背景に実力闘争を拒もうとして闘争が起こった。結果、機動隊と学生の衝突はなく、

当時の日本の学生が戦争に反対していたこと、明日バックに参加することによって、過ちを繰り返すことを恐れた。

自分たちの学校のかちえたりという**カルチュアランの存続が認められる。

政府に反対し抗議した運動。

かんだカルチュアラン闘争となつていく。

1人打ち(要約)

今回私は、作中の「カルチュアラン反対運動」から見た、1960年代当時の日本と現代の日本の関係性について述べたいと思う。

史実としては、1968年に世界的なベトナム反戦運動を背景に、アスバック、失礼しました。ASPACの開催が日本が注目のアジア再保衛戦への一歩であるとして抗議し、その実力闘争を拒もうとして、「神田カルチュアラン闘争」が起こった。

この結果としては、機動隊と学生の衝突はあまりなく、明日バックを開催された。

この神田カルチュアラン闘争からわかることは、当時の日本の学生が、ベトナム戦争に反対していたこと、日本政府が明日バックに参加することによって、過去の過ちを繰り返してしまふことを恐れていたことだ。

2人打ち

今回、作中のカルチュアラン取り壊し運動から見た、1960年代当時の日本と現代の日本の関係性について述べる。

1968年にベトナム反戦運動を背景に、アジア再保衛戦の一歩として抗議し、神田カルチュアラン闘争が起こった。結果として機動隊と学生の衝突はなく、明日バックを改正された。

当時の学生がベトナム戦争に反対していたこと、日本が明日バックに参加することによって、同じ過ちをすることを恐れたという結果である。

1人打ち(全文)

支援学生の養成

- 月2回 練習会実施
- 練習会用の教材作成
- 運営学生による各種講座の開催
(パソコンテイク，ノートテイク
遠隔テイク，字幕付け)



問い合わせ先

情報保障支援学生団体「てくてく」 mail : tekuteku@t.ics.aichi-edu.ac.jp